< 参 考 資 料 > 平成26年4月16日東京電力株式会社

<概 要>

発生日時: 4月16日午後0時19分頃発見

同日午後1時24分停止

発生場所: A L P S 建屋ジャバラハウス内(HIC設置エリア)

発見者:作業員

オーバーフロー範囲:約8m×約9m×深さ約10cm(ジャバラハウス内の堰内)

オーバーフロー水:吸着材とろ過水の混合物と推定

作業内容:多核種除去設備(ALPS)側の吸着塔から吸着材2用HICに、ろ過水を注入して吸着材を送り出す作業

発生状況:多核種除去設備(ALPS)において、高性能容器(HIC)からオーバーフローしていることを作業員が

発見。多核種除去設備(ALPS)側の吸着塔から吸着材2用HICに、ろ過水を注入して吸着材を送り出す作業中、HICから吸着材とろ過水の混合物がオーバーフローしたものと推定。

その後、仮設移送ポンプを停止したことにより、オーバーフロー水が停止したことを確認。

なお、作業員の汚染および設備の損傷等の異常は確認されておらず、モニタリングポストおよびダストモニタの指示にも有意な変動はありません。

また、同日午後0時36分頃、多核種除去設備(ALPS)において、「クロスフローフィルタ(1)Aスキッド2近傍タメマス(2)漏えい」警報が発生。現在、当該警報の発生とオーバーフローの関係について確認中です。

雰囲気線量:表面線量率 70 μ m線量当量率 (ベータ線) 0.2 mSv/h

1 cm線量当量率(ガンマ線) 0.008mSv/h

雰囲気線量率 70 μ m線量当量率 (ベータ線) 0.3 mSv/h

1 cm線量当量率 (ガンマ線) 0.03 mSv/h

- 1 後段の吸着塔でストロンチウム吸着を阻害するイオン(マグネシウムやカルシウム等)の炭酸塩を除去するフィルタ
- 2 オーバーフローした水を集水する設備



<系統概略図> B系列 前処理設備 多核種除去装置 沈殿処理 生成物 沈殿処理 生成物 吸着材6用 吸着材5用 スラリー用 HIC HIC クロスフロー HIC1 スラリー用 フィルタ1 ブースター HIC2 循環 ポンプ2 処理 バッチ処理 処理水タンクへ カラム タンク1 供給 ポンプ1 クロスフロー タンク RO濃縮 フィルタ2 サンプル 廃液等 タンク スラリー移送 より ポンプ 戻りライン () 供給 循環 **-**ポンプ2 ポンプ**2** スラリー 吸着塔入口 吸着塔 バッファタンク 出口 移送 デガント バッチ処理 共沈 タンク デカント ポンプ フィルタ ポンプ ポンプ1 タンク タンク2 タンク **リ**ースター | ポンプ1 オーバ-使用済 吸着材 薬品供給設備(共通) 【オーバーフローの状況】 吸着材1用 吸着材2用 吸着材4用 吸着材3用 HIC HIC HIC



平成26年4月16日撮影 東京電力株式会社